



の記事です。

私は若いころ、年寄りの話を「なんで年寄り、こんなことをグダグダ言うのだろう」、「今の世の中分かってないね」とかの感じを持ちながら、「まあ、年寄りと喧嘩をしても始まらないので、おとなしく聞いておくか」なんて思いで聞いていました。そして私も歳を取って、そのようなグダグダと言う話を若い人にするようになってしまいました。面白いもので、かつて自分が批判的であったその姿に自分が自動的になるのです。DNAの劣化、老化の本質であるDNA複製時の遺伝情報の欠除がそうさせるのかも知れませんが、contemporaryな高周波情報に対する感度がどんどん落ちて行くことに伴う鈍感さの進展、その結果として出てくる生の余裕のせい、か、感じている情報が高周波成分にマスキングされなくなった分、今まで気づかなかった低周波情報を感じられることもあります。もしかしたら年寄りのグダグダ話の中には、このような低周波情報を若い人に伝える役割が、何億年減びずに来た生命の奇跡としてあるのかもしれない。人類の将来、国の将来 etc.を考えた場合、それを決めるのは長周期の緩やかな変化で、長期的にはその振幅が大きくなるものです。このような低周波成分の情報をどれだけ感じられるかが大切なのですが、恐らく、高周波成分の情報に良く反応する人にはそれが難しいでしょう。人間は本質的に変化の勾配に対してしか感度が無い上に、一度に受け取れる情報の総量にも限界がありそうですから。

自分が年を取ってきたせいで、何事もすぐに斜めから見ようになり、ブツブツと呟くようになりました。

## 愚民化

公益財団法人応用科学研究所 久保愛三

車で近郊の田園地帯を走っていたり、新幹線の窓から見ていると、畑の中にどんどん太陽光発電設備が立てられています。近頃その増加ぶりが特に目につきます。その多くは今まで農耕をしていた畑を潰してこのような設備を建設しているようです。建設には補助金がもらえて、自己負担はそれ程大きくないそうです。発電した電気は自分で必要として使うのではなく売られます。電力会社から購入する電力に比べて何倍もの値段で買ってもらえるので、自分が必要とする電力は既存の電力会社から購入し、太陽光発電した電力は売却するのです。そうするとその差額分、儲かります。額に汗し、毎日毎日、畑作りでしんどい思いをして働かなくても、寝ていて、ある程度安定した収入が得られるのです。人間は所詮、楽な方に走りますので、このような農地の転用が急速に進んでいるものと思われれます。マスコミや地方政府、中央政府もサステナブルエネルギーと言うはやり言葉への迎合、そしてその増強と言う現時点のグローバル対応策が民意を得られるとして、これに大きな税を投入しています。このことは、太陽光自家発電と言う手段で、働かない国民が血税を食う事を奨励しているのです。長期的にこのことがどのような影響を日本に与えるかを考えてみると恐ろしいものがあります。



税の損失以上に重要なことは、日本人の美点であった勤勉さ、まじめさが消失し、グータラ人間ばかりが増えて行くことになることです。世界に冠たる日本人の美点が失われ、世界の並に、あるいは並以下になろうとしています。設置されるソーラーパネルは全て中国製で日本に利益をもたらすものではなく、また、発電設備を作るのにも技術立国日本の技術は必要でなく、低級技術で十分です。日本を支える技術を栄えさせる方向性は持っていません。畑が無くなって、今までの労働から解放されたことにより生まれてきた余剰時間を、より生産的に使うことの出来る人間はどの程度いるのでしょうか。人間の能力の分布状態から考えてそのような生産的思考をもって現状を変更する人間のパーセントは極々僅かでしょう。また一旦、発電設備用に提供された土地は農耕に適さなくなり、二度と元の豊かな畑には戻らないでしょう。そのうちに「生まれた土地は荒れ放題、右も左も真っ暗闇じゃございませんか」と言うことになります。この畑地が荒廃した状況、緑と清らかな水の無くなった状況は、人間の精神を荒廃させます。

江州の村の今から 60 年ぐらい前のことですが、「あの家のグータラは、まともに働かんし、どうしようもないな。食いはぐれせんよう、村会議員にでもしとくか」なんて話がされていたのを耳にしていました。今や、そういう類の人間が日本中で政治家になろうとし、倫理観は無く、金の亡者が国を食い物にするようになって行くのです。現在の議員や公務員の中にもこのような類の人間はかなりおり、お上の状況は下々に伝わって日本国全体の程度を悪化させています。また、そのような人間は人をたぶらかす言葉だけはうまいですよね。現在の太陽光発電設備繁茂の状態はそのような傾向を助長します。

太陽光発電は、農地を潰してはならず、自宅の屋根瓦から発電し、起こした電気は全て自分が使う。畑仕事は今まで以上に額に汗して精を出し、その収入と、太陽光発電での電気使用料金支出を減少させることにより、豊かな生活を導く、と言うように人の考えを変えさせねば、太陽光発電は日本国民を愚民化し、日本人の質を劣化させることになります。マスコミも政府も太陽光発電が人間の精神状態に与える影響を考え、現在の考え方を改める必要があるでしょう。